

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3970700179
法人名	社会福祉法人 榊の木福祉会
事業所名	グループホーム はまゆう
訪問調査日	平成 19 年 6 月 20 日
評価確定日	平成 19 年 9 月 25 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月31日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970700179
法人名	社会福祉法人 栲の木福祉会
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地 (電話番号)	〒787-0155 高知県四万十市下田1910番地9 (電話)0880-33-1335

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年6月20日	評価確定日	9月25日

## 【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 16 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	8人, 非常勤 3人, 常勤換算 9.5人

## (2)建物概要

建物形態	併設/ <input checked="" type="radio"/> 単独	<input checked="" type="radio"/> 新築/ <input type="radio"/> 改築
建物構造	木 造り	
	1階建ての	1階 ~ 1階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	51,000 円
敷 金	有( 円)	<input checked="" type="radio"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

## (4)利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	6 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	81 歳	最高	91 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	竹本病院 朝日歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地より少し離れた海辺に近い落ち着いた環境の中で、地域とのつきあいが非常に良くとれており、「はまゆう家」として地区住民の一員として地区行事に参加し交流されている。又、小学校との交流もあり、子供達の来訪では喜びもひとしおで、近隣の人達もよく来訪し、野菜や花等を届けてくれる。利用者の笑顔がとても印象的でその笑顔は職員が常に地域密着型サービスとしての理念を念頭に置きながら利用者と共に生活している結果だと考える。家族も心やすく受け入れてくれる事に感謝し、利用者の日々の暮らしぶりに安心している。現在隣接地に多機能型施設が建設中で新たな取り組みに期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の課題で利用者、家族の権利と義務や相談、苦情受け等の明示が改善されている。できることから取り組んでおり、一つひとつの課題解決に向けて話し合いながら進めている姿が窺える。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員会で評価の意義について話し合っている。職員の意見を聞き、管理者が作成している。職員の異動で今年採用された職員は自己評価を知らなかった。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	・ホームの理解と理念について、利用者の特徴と接し方について地区長の協力を得て地区の会で説明し理解してもらった。又、地域との付き合いが大切なこと。開放されたホームでいつでも来訪できること。 ・事業所内、地区内の行事計画と役割の確認、報告について避難訓練、夜間訓練を要望し、地区自衛防災メンバーの協力のもと実施可能になる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	事業所での利用者の暮らしぶり、健康状態等を「はまゆう通信」や家族の来訪時に報告をしているが、家族の意見、苦情等はない。職員から家族の来訪時には声かけをして意見をもらえる体制づくりはしている。家族のアンケートから「良く聞いてくれる。」「来訪時に心安く話が出来る。」等の意見がある。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との連携が非常に良くとれている。「はまゆう家」として地区会にも加入しており、地区の情報も把握できる。地区で行われている行事、盆踊り、避難訓練、敬老会、小学校の運動会に参加し交流することで、近所の人達や子供達がよく来訪してくれる楽しい時間を過ごしている。

## 2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [理念の「その人らしく生き生きとした暮らしづくりやなじみの関係づくり」を常に念頭に置きながら接しており、利用者の笑顔がとても印象的だった。] <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 [これまで以上に家庭的な環境と地域住民との交流を深め安心した暮らしが出来る内容のものである。]		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [月2回の話し合いの場やミーティング、申し送りの時間、回数を増やし、職員全体で理念を共有した実践ができるよう取り組んでいる。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録)において理念が反映されている。 [職員の言葉かけや態度もおだやかでやさしく対応されている。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一人として、町会、自治会等に参加している。 [地域住民の一人「はまゆう家」として地区会に参加している。区費も支払っており、地域の回覧で情報を得ることが出来る。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [地域で行う清掃活動、盆踊り、避難訓練、敬老会等毎年の恒例行事や小学校運動会に利用者と共に職員が参加するなど地元の人々との交流がよくとれている。]		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [ ] <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [ ]	○	評価の意義とねらいについて職員で話し合っているが、自己評価についてまだ知らない新採職員もおり、オリエンテーションに盛り込むなど、情報の共有への取り組みが重要である。又、評価で見いだされた課題について、できることから実施されているが、改善計画を立てておらず計画に基づく取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔2か月に1回開催。会議では事業所、地域での行事計画の確認と報告が中心となっている。事業所から夜間防災訓練を要望し地域の自主防災メンバーの協力が得られることになった。〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価での課題は報告しているが、今後の取り組みについての検討が十分ではない。〕	○	会議では、報告が中心なので家族の意見が出にくくなっている。今後、評価で得られた課題についての検討を行うこと、また隣接地に建設中の小規模多機能型施設とのかわりに期待したい。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔事業所の実情については、報告をしている。今のところそれ以上の関わりは無い。〕	○	日々、必要に応じた連絡は行っている。事業所のケアサービスの取り組みや実態を含んだ行政職員との研修の場づくりなどの取り組みも期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族会や家族の訪問時に利用者の状況を報告している。家族からも報告はよくある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔「はまゆう通信」を定期的に発行し、事業所の行事、お花見、七夕、避難訓練、クリスマス忘年会、地域の盆踊り等、日頃の暮らしぶりのわかる写真にエピソードや職員の一言を添えて送っている。利用者からも年賀状、暑中見舞に一言書いて送っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔事故につながる場合はすみやかに対処し、家族への報告とともにその内容は個人の記録、事故報告書に綴られている。事故につながった原因を解明し再発防止のための話し合いをされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について、用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔毎月請求書と買物の領収書を送付し家族に報告している。利用者一人ひとり領収書の控えと共に金銭出納帳にて管理されている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 [家族会、訪問時の声かけ、意見箱の設置等で要望、意見を出せる仕組みを作っている。] <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 [ ]	○	事業所運営には家族の意見が重要で、意見がなくても問題がないか、見極めながら対応する事も大切である。他の事業所との交流の場や勉強会等で他の事業所の取り組みも参考にされたりと更なる取り組みに期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 [法人間で、職員の異動があるも開設当初から勤務している馴染みの職員4名を確保できている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 [異動による引き継ぎ期間が2週間あり、利用者へのダメージもなくスムーズに移行できている。]		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 [研修の情報は職員全員に提供し、できるだけ参加できるような勤務体制をとっている。法人全体のGH間の勉強会も行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 [職員が集まる場で研修報告する機会を作り、研修報告はファイルされ、いつでも閲覧することができる。]		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 [同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質の向上につなげている。] <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 [年2回の交流の機会を設けている。他、日々の行事を通しての交流があり、職員のサービスや質向上につながる機会になっている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<input type="checkbox"/> 馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 [病院からの紹介では心身の状況、病歴等は把握しやすいが、在宅からの希望者については、家族から生活状態は聞きやすい反面、病歴がわかりにくいいため、積極的に把握するよう努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 [サービスを納得して利用できるまで、本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。時間のかかる方もいるが徐々に馴染み入居に至る方もいる。] <input type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 [入居希望者には管理者が対応し職員に伝えている。]		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<input type="checkbox"/> 本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [職員の一方的な支援にならないように利用者と一緒に過ごし、学び、支えあえる関係を作っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [職員は利用者自身の出来ること、出来ないことを見極めながら、出来ることは職員と共に協働しながら家庭的な雰囲気日々の生活が過ごせるような関係づくりをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [利用者の経験から、畑仕事、ねぎの植え方、梅やラッキョウのへた取りから漬け方を教えてもらう等、「教えてもらえるのでありがたい」等の声かけもしながら日常的に場面づくりを行っている。]		
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [利用者の表情や聞き取りにより、一人ひとりの希望・意向の把握に努めている。] <input type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [家族や関係者から聞き取りを行い情報を得る努力をされているが、内容を記録に残し生活歴を積み重ねていくことが望ましい。]	○	把握した事柄を定期的に職員会等で確認し共有化している。思いを言えない人には表情や態度からくみとるよう努めているが困難さもある。家族や関係者から情報を得る時、把握しにくい病歴も含めた聞き取りをされることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [ ]		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [介護計画は3ヵ月毎に見直しされ、家族のサインをもらっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [定期的な見直し以外に本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合は、その都度見直しをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 [尿失禁のある方の排泄パターンを把握し、こまめに誘導することで改善され家族から喜ばれ、職員の自信と励みになった。個別の期間設定も行っている。]		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 [協力医療機関との連携のもと、H19年5月から看護師が常勤となり、ホームでの生活が継続できる体制を整えつつある。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [ケアを提供できることも説明しているが、現在は該当者がいない。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [外出、通院等の送迎の支援を行っている。外泊については要望が無い。]		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができている。 [かかりつけ医との連携がとれている。利用者の状態に応じ家族の希望により他機関への受診支援も行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [家族同伴の受診が3名いる。他の方については家族の希望で送迎している。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができている。 [受診結果は病院から情報提供される。家族からの結果報告や事業所から家族への報告等、情報の共有と信頼関係ができている。個人記録もきちんと整理されている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [ ] <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 [ ]	○	現在、利用者の状態変化に合わせ家族、主治医との話し合いをし、意向確認を行っている。医療連携体制加算の創設により、看護師を配置(24時間連絡可能な体制を確保)するとともに、看取りに関する指針を定め取り組むように進めており、今後職員全員で家族の希望に添う終末期のケアを提供できるホームとなれることを期待する。
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 [職員はゆっくり、ゆったりを常に心がけており、排泄の誘導もさりげなく行われ、又、食事の時間もその人に合ったペースで終わりまで見守っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 [事務所内の新人研修や職員会等で利用者のプライバシーについての話し合いを持ち、不適切な対応がないよう再確認し合っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 [職員全員が法の理解に努めプライバシーを損ねるような個人情報の取り扱いはしていない。]		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 [利用者一人ひとりに、その日にしたい事への声かけをしているが、体調等に合わせ対応している。] <input type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 [「その日」にしたい事を把握しにくい利用者もおられ、業務を優先してしまう場面もある。]	○	一人ひとりのペースを守るための工夫をしながらの取り組みを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 [利用者に食べたい物を聞き、メニューに取り入れている。近所の人を持ってきてくれた野菜や、菜園から収穫した手づくり野菜も食材に、えんどうの皮はぎ、食材の準備、配膳、下膳、食器洗い等職員と共にしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 [職員も同じ物を一緒に食べている。配膳では箸置き代わりにお菓子を使って、なごやかさを演出するなど、食卓に笑い声があり、楽しい雰囲気である。]		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 [利用者のその日の体調を見ながら希望を聞き入浴している。現在夜間の希望はないが、希望あれば体制は整っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 [「今日は風邪をひいているから」とか、「今入ったところ」だと言葉かけのタイミングで拒む人も間をおくと「入ろうか」の返事が返ってくる等言葉かけや対応に工夫されている。]		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 [利用者の役割や楽しみごとを把握している。若い時、日舞を習った事のある方には、居室にその当時の写真を貼ったり、ボランティアさんが日舞を踊ってくれると生き生きしてくる。] <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 [畑の世話を今日はしんどいからと言っていても、皆で始めると経験を發揮して先頭に立ってやりだす事もある。ラッキョウや梅の漬け方を教えて漬ける等、職員は「ありがたい」感謝の言葉を伝え利用者の張り合いになっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 [食器洗い、タオルたたみ、調理、買い物、散歩、花や畑の世話、刺繍の得意な方、新聞を読む方、コーヒータイムでおしゃべりをする方、利用者一人ひとりの役割や楽しみごとを支援され気晴らしになっている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 [買物にも必ず声かけをしているが希望者が限られている。毎週土曜日に4～5人が近くの喫茶店へモーニングを食べに行くのを楽しみにしている。理美容は地元の店へ行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 [歩行困難な方にも外出の声かけを行い、買物にも必ず声かけをしているが、希望者が限られている。] <input type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 [車1台で可能な限り対応している。白藤園で行っている3B体操は月4回あり交代で参加し楽しんでいる。]	○	1日1回は外へ出ようと利用者全員に声かけを行っているが、散歩に出かける方は全員ではない。今後、1日1回は外へ出ることが全員の日課になることを期待したい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 [日中、居室や玄関に鍵をかけていない。玄関はセンサーを設置しているが静かな音で心理的圧迫を感じない。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 [外出の習慣や傾向を把握し対応している。一人で外出する方には本人について行き、落ち着きがみえてきた。] <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 [近所の人に理解を求め、協力してもらえる関係が出来ている。]		
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 [年1回地域が行う避難訓練に参加し、地元の方と交流している。夜間訓練も地域の自主防災のメンバーと話し合っている。] <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 [避難場所は道路を出ると目の前にある土俵場である。事業所では、消防署員の協力のもと、避難訓練と消防訓練を実施して消火器の取り扱い方について学んでいる。しかし、非常用食料・備品の準備ができていない。]	○	非常用食料・備品の準備をし災害に備えることを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<input type="checkbox"/> 栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 [見た目に彩りよく、また栄養バランスに配慮した献立が作られている。利用者も美味しいと殆ど全部召し上がっていた。] <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 [ ]	○	食事量は把握している。水分量についてはチェックしていないが、食事中、おやつの時間、入浴前に摂取している。飲水量が不足ではないか職員全員で関わる事が大切であり、チェックをすることを望み、また定期的に栄養士等による栄養バランスのチェックをしてもらう事も重要である。今後の取り組みに期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<input type="checkbox"/> 居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 [居間は風通しのよい場所でテレビやソファが置かれ、新聞を読んだり、談笑があったり、馴染みのイスで居眠りしたりと思いつきに過ごせる共用空間になっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 [壁飾りもほほえんでいる石仏の絵が掛けられたり、見ているとほほえみ返したくなるような置物等で家庭的な雰囲気を醸し出している。] <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 [玄関先には、アジサイの花や小花の鉢植えが並び、近所の人が持ってきてくれたメダカや花が生けられ心なごませてくれている。]		
30	83	<input type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 [居室には昔の写真をはじめ家族の写真や入居者同士での写真を飾ったり、好きな人形を置いている。] <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 [入所時に馴染みの物を持ってきてもらえるよう家族に相談している。少なく感じる居室については工夫をしながら対応されている。]		